

榎原さんは、小生の20年来の友人です。UAE で悪戦苦闘していたときに、わざわざ日本から応援に駆けつけてくだされ、いまもドーハにとどまっておられます。今回は、カタール事情です。

日野 PE-0009

カタールのアマチュア無線事情

榎原 悟 <http://dubaiuae.exblog.jp/>

JA1FLQ 在カタール、ドーハ

2006年9月末、ラマダン（イスラムの断食月）が始まって間もないころにカタールへやって来ました。私は中東では過去に3年ほど働いた経緯があり、特に同じGCC（湾岸諸国）の一員であることから、生活や仕事の面で不安はありませんでした。

今回は日本の大手ゼネコンが請け負った建設工事に現地JVから雇用される形で、主に工務担当で携わることになりました。それから早3年が経ち、今年のラマダンも始まり4年目に入るのも目前です。仕事上の話はさておき、3年の長きにわたって此处での生活を支えてきたものは、個人の趣味をできるだけ貫き通したいという一念です。趣味といっても、この会報の趣旨から鑑みて技術系の方々に興味を持っていただけるものとなれば、私の場合はこれくらいしかありません。これとは「アマチュア無線」です。

無線に興味を持ったのは小学生高学年ですから、今から45年くらい前になります。しかし、下記にもありますが、試験が難しくとても通りそうにないので、あきらめました。その後35年後に、結果的に2級アマチュア無線家の資格を取り、自宅に八木アンテナも建てて開局した次第です。100ワットの出力で、世界各地と交信が出来るのが夢のようでした。

さて、去年まではいつ帰国するのかわからない状態で、仕事だけに集中していました。しかし後1年は確実にこの地に居そうだと分かった時点で、もう少し自分の時間というか、仕事とは完全に縁の無い趣味の世界でカタールに居たという証のようなものと考え始めた矢先に、カタールアマチュア無線連盟に知己を得ました。どの分野でもそうですが、アマチュア無線業界で日本製品は世界でのトップシェアというより、他に競争相手がなくなりました。携帯電話普及するまでは、モバイルでの連絡手段は無線通信であり、世界中に数多くのメーカーが割拠していました。時代と共に日本でも八重洲電気、アイコム、ケンウッドくらいしか残っておらず、他はこの業界から姿を消しました。

そんな日本から来たアマチュア無線家ということで、非常に丁寧なもてなしを受けました。それと知り合ったA71AN（コールサイン）のラシッドさんは10年以上前にGEの仕事で名古屋に1年近く通ったそうです。そういう事情もあいまって、特に親しくなり現在に至っています。

カタールでは適宜試験が行われていますが、何せ人口が80万人にも満たない小国です。毎年1人くらいしか新規の資格者はいないようです。現在連盟の会員、即ち資格者は50人程度です。日本でもそうですが、国際的には資格によって運用できる周波数帯に制限があり、又機器の出力にも制限があります。（詳しくは下記をご参照ください。）未確認ですがカタールでは1種類の免許しかないようです。ですが、電信の送受信は必須のようで、この点現行の日本の免許制度よりも厳しいかも知れません。世界的に見ても電信、すなわちモールス信号での交信は業務無線では既に行われておらず、わずかにアマチュア無線でのみ使用されています。しかし、音声により交信が簡単なのに対して、職人的な技能が要求される電信は愛好者が限定されており、

私の日本での仲間の間でも10人に一人いるかどうかです。そんな電信ですが、ここカタールではそれが全てと言って過言では無いと思います。アラビア語の世界であることも一因かも知れません。

では私はその電信ができるかという質問が来そうですが、あいにく未だ練習中といったほうが正しいと思います。資格はあるのですが、受信時の判読もそうですが、送信もままなりません。此処での資格は、「ゲストオペレーション」と言って、カタールの免許を持っている人の監督下でしか運用ができません。それもあり、電信の出来ない私は肩身の狭い思いをしています。

免許制度のグローバル化の波は未だヨーロッパ、北米、オセアニア、日本などにしか訪れていなくて、その点中東諸国はまだまだ発展途上国の一つです。電波管理が国家防衛の一環で行われている国は、戦争状態にあるか、単に遅れているかのどちらかです。遅れているというのは、法整備が遅れているということです。自国の都合を優先している結果でしょうか。以上とりとめもなく書いてしまいましたが、下記に拙い英語でカタールアマチュア無線連盟に寄稿した一文を添付します。辞書を使わずに読める文章と言うことでご理解をいただき、ご一読ください。

45 years ago, I was interested in radio operation when I saw one picture about amateur radio. However, it was difficult to get the license at the time, because I was around 10 years old. Time passed quickly after I found other easier hobby and forgot to become ham. It was 10 years ago, when I noticed that I need something new to initiate and ham has been my favorite one to be. There are many opportunities to become ham in Japan. Beginner class is opened to any one who has interest in radio operation. Japanese liscence is classified as follows.



Class 4 ; Novice class, only allowed for phone and up to 10 watt for output

Class 3 ; Technician class, allowed also for CW and up to 50 watt for out put

Class 2 ; General class, out put up to 200 watt

class 1 ; Extra class, out put non limited

I got Class 2 within one year after decision to become ham. It was not so easy to pass the examination, because I have no electric background to understand detailed system of radio transmission and reception. But there are useful text books to get high score and seminar to pass it. Further Japanese system regarding amateur radio operation later will be introduced later in this forum soon. If further information now required, please refer to <http://www.jarl.or.jp/English/0-2.htm>

So I am now one of millions who enjoy radio life in the world. In addition, I am very happy to get opportunity to operate radio here as A71/JA1FLQ. I appreciate all members of QARS, especially to A71AN and A71BR.

de JA1FLQ from Doha, Qatar